

給する番組コンテンツ「きみが住む星」であった。機材及び「きみが住む星」以外のコンテンツは坂元の子ノ星教育社が所有するものである。

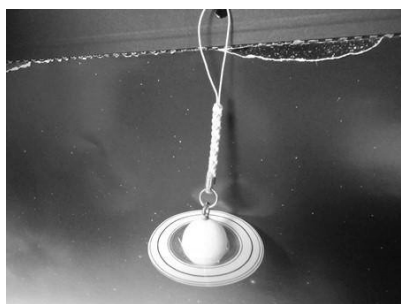
2) ミニ講演

内容は難しいがあえて今年のビッグニュース「重力波ってどんな波?」「ブラックホールはどこにいる?」を福江が解説した。

惑星探査について山田の「プルート今昔物語」「ジュノーは木星に何を見つけるか」、京都らしい天文ネタとして作花の「藤原定家の客星記録」「安倍晴明の見た天変」。また河村（花山天文台）の「わが国のオーロラ記録」。会員各位に内容解説は不要でしょうから省略します。

3) クラフトワーク

やはり天文工作は子供向けのイベントには、簡単な工作が不可欠であることを痛感した。幼稚園児から小学生その親御さんまで嬉々として取り組んでいる。



4) ぶらはんど

これは大人でも面白い。Microsoft が Xbox というゲーム用に作っている Kinect という

センサーを使う。これによって人間の動きを認識し、腕を広げたり合わせたりなどの動きで、惑星をつまんだり大きくしたり小さくしたり回したり、モニターの惑星像を自在に操れる！ もちろん自転させたり惑星像の切り替えも可能。



3 回とも無事に終了した。フィナーレは風船ロケット。

スタッフの皆さんお疲れさまでした。次回はいつどこでやりましょうか。

